

本郷西小学校の児童たちが新しいお好み焼きを考案

本郷西小学校の6年生が広島エアポートホテルと連携して、三原の食材を使ったお好み焼き「もっちもち 本郷オムレット」を開発し、9月4日に同校で完成発表会が開かれました。地方創生に向けた市のキャリア教育事業の1つで、児童らのアイデアを基に、同社が商品化しました。もっちもち 本郷オムレットは、ハウレンソウを練り込んだ米粉生地で、神明鶏や揚げ麺、タコとトマトのソースなどを包み込んだ新しいタイプのお好み焼きです。試食した田村 大君は「とてもおいしかった。みんなにも食べてもらいたい」と話しました。商品は10月20日に広島空港で開かれる「ひろしま空の日2019ふれあい秋まつり」などで、1個400円で販売されます。☎経営企画課(☎0848・67・6270)



三原小の児童が タコの産卵礁を設置

8月22日、三原小学校の5年生が水産教室に参加し、タコの産卵場所になるつぼ「産卵礁」の設置を体験しました。水産教室は三原名物のタコや水産業への関心を深めてもらうために、三原市漁業協同組合が毎年開催しています。児童たちは組合員の船に乗り、須波町沖で産卵礁となるつぼを次々に投げ入れました。参加した児童は「重かったけど楽しかった。タコがたくさん育てほしい」と話しました。☎農林水産課(☎0848・67・6077)



豪雨で被災した西部共同調理場で給食調理を再開

9月2日、市は平成30年7月豪雨で被災した西部共同調理場(下北方一丁目)での給食の調理業務を再開しました。同施設は小中学校7校の給食調理を担当。昨年の豪雨で調理室などがある1階が浸水し、復旧工事のために調理を中断していました。給食が届けられた本郷小学校では、「温かい」「おいしいね」と児童たちが久しぶりの給食を楽しみました。☎学校給食課(☎0848・68・0149)



本郷地域に 地域おこし協力隊員が着任

9月2日、本郷地域で活動する地域おこし協力隊員に、神戸市出身の近藤淳志さんが着任しました。任期は最長3年で、当面は北方地区の農事組合法人で活動する予定です。依頼状の交付式で近藤さんは「調理師として働いていた経験を生かし、特産品の開発を行いたい」と意気込みを語りました。市内では近藤さんを含め6人の地域おこし協力隊員が活動中です。☎地域企画課(☎0848・67・6011)



新100歳を市長が祝う

敬老の日(9月16日)にちなみ、9月11日、天満市長が今年度で100歳を迎える久井町の陶 ツジ子さん宅を訪ね、記念の賞状や銀杯を贈りました。天満市長から健康の秘訣を尋ねられた陶さんは「畑仕事が健康の秘訣です。地域の食事会やサロン活動にも欠かさず参加します」と笑顔で答えました。☎高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

